

令和6年度



松江市立皆美が丘女子高等学校

第1回 学校運営協議会

1 日 時 令和6年5月28日(火) 11:00~12:00

2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室

3 会 次 第 (1) 学校運営協議会委員委嘱

(2) 開会のことば

(3) 校長挨拶

(4) 協議

① 会長、副会長の選出

② 学校運営方針について

③ その他

(5) 委員の皆さまからの質問、提言等

(6) 校長挨拶

(7) 閉会のことば

令和6年度第1回学校運営協議会参加者一覧

(敬称略)

氏 名	備考
委 員 池田 太持	3年目 朝酌公民館館長
委 員 昌子 誠	1年目 PTA会長
委 員 宮廻 智美	1年目 元松江市職員
委 員 鷗鷯 順	3年目 中浦食品(株)代表取締役会長
委 員 大谷みどり	3年目 島根大学大学院教授
校 長 多々納雄二	
教 頭 山中 清恵	
事務長 糸川 健治	
総務主任 杉尾 裕邦	

協議

1 会長、副会長の選出

会 長 _____

副会長 _____

2 学校運営計画

※文書フォントは、ユニバーサル書体(UD デジタル教科書体)で統一

令和6年度 松江市立皆美が丘女子高等学校 学校経営計画

1 校訓

より広く より高く (平成15年制定)

より広い心と、より広い視野や知識をもとに、より高い志を抱き、個人の人格をより高めていくよう努力しよう

2 スクール・アイデンティティ

自立 創造 共生

【R6追記】

+ 「より美しく よりしなやかに」

立ち居振る舞いの点で「麗しさ」、柔軟性や打たれ強さの点で「しなやかさ」を身に付けよう

3 本校の使命(スクール・ミッション)

松江市立の女子高等学校として、地域社会に開かれた教育活動を通じて、松江への愛着とグローバルな視点で夢を実現し未来を切り拓く力を培うとともに、松江市の未来の創造に参画するリーダーを育てる。

(令和5年3月20日松江市教育委員会より 再定義通知)

4 育てたい生徒像(グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒
- ② ホスピタリティ精神に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で相手を慮ることができる生徒
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解し、他国の文化を尊重し、社会をよりよくするために行動することができる生徒

【伸ばしたい資質・能力、整えたい体験や披露の機会】

圧倒的な パフォーマンス・ホスピタリティ・コミュニケーション

5 めざす学校像

生き生きと生徒が自らを伸ばし、広い視野に立って社会に貢献する力を培う学校

「Challenge を育て Challenge で育てる学校」

【推奨する支援体制・環境】 Cha,Cha,Cha を、〃 で、応援・支援

Challenge(挑戦) Chance(機会) Change(変革) Chase(追求) Chat(対話)

6 めざす教員像

- ① 人権感覚を磨き、チームの一員としてホスピタリティ精神をもって安心・安全な学校づくりを推進することのできる教職員
- ② 新しい教育の動きを踏まえ、自らの資質を高めようと学び続ける教職員
- ③ 社会人としてのロールモデルとなる教職員

【生徒・教職員ともに 推奨したい姿勢】

スイコウ:推考(落ち着いて思考)・推敲(立ち止まって修正)・遂行(あきらめず達成)

7 教育目標

① 主体的な学びを促す教育の推進

- ・学習習慣を確立させ、基礎基本を定着させる
- ・「出会う」体験を通じて視野を広げ、学びを深める
- ・「為すこと」と「学ぶこと」をつなぎ、協働して課題解決をめざす力を育成する

② 規範意識の醸成と基本的な生活習慣の確立

- ・社会人基礎力としての規範意識・生活習慣を確立する

③ 国際教育・英語教育の推進

- ・グローバル社会をたくましく生きるコミュニケーション力を育成する
- ・語学の学びを踏まえたグローバルな思考力・表現力を育成する
- ・物事を多面的に考え、多様性を受け容れる力を育成する

8 重点目標

- (1) 自他を尊重し、互いの成長を認め合う教育活動の推進
- (2) 確かな学力に定着・伸長と、考える授業・表現する授業の展開
- (3) 普通科、国際コミュニケーション科それぞれの特性を生かしたキャリア教育の推進と進路実現
- (4) 探究型学習の推進
- (5) 部活動、生徒会活動、ボランティア活動への積極的な取組
- (6) 高専連携、高大連携の推進
- (7) 地域、PTA、同窓会等との連携と、活発な情報発信

9 改革推進項目

(1) 基礎学力の伸長

- ① 授業に向き合う姿勢の共通理解 … 学び方を学ばせる指導
- ② 思考力・表現力につながる読書活動の推進
- ③ 生徒にとって面白く発見のある授業の研究

(2) 品位あるふるまいの育成

- ① TPO を自覚したふるまいの育成
- ② 互いに気持ちよく過ごすための言動の育成

(3) 卒業時を見通した教育活動のデザイン

- ① ルーブリックをベースにした育成型評価の実施
- ② 探究型学習と教科学習の往還

(4) 働き方改革の推進

- ① アンケート等の分析に基づいた指導の在り方の検討・検証
- ② ICT 機器を活用した業務改革の推進
- ③ 連携・協力に基づいた業務の遂行

【R6年度の挑戦】(検討・試行を含めて)

1. 魅力化推進体制の強化
 - ・コーディネーター2人体制
 - (担当割:地域連携・高大連携)
2. 外国語教育の更なる充実
 - ・ALT の常駐化
 - ・外国語大学でのキャンパス体験
 - ・海外友好都市との交流
3. よりよく学ぶ・働く環境の整備
 - ・時間割固定化の試行
 - ・定期試験の設定検討
 - ・補習等の在り方検討
4. キャリア教育の観点の重視
 - ・知る、かかわる、つながる、活かす
 - ・効果的な体験機会の創出
 - ・進路実現につながる学習の推進
5. 言葉による表現・伝達の重視
 - ・「～ない」より「～よう」を推奨
 - ・印象的な、心に残る言葉の工夫
 - ・機に応じたスローガンの提示と反復
6. 女子高ならではの魅力の構築と発信
 - ・特長や強みを活かす工夫
 - ・中学生等への効果的な広報

令和6年度 1学期始業式

令和6年4月8日
校長 多々納 雄二

校訓：より広く より高く (平成15年制定)

●伝統の「より広く より高く」←横・縦の観点
(富士山のイメージ)

+ 「より麗しく よりしなやかに」

→ 「麗しさ」 = 立ち居振る舞い
「しなやかさ」 = 柔軟性・打たれ強さ

3

校歌

三、 おとめらが 吹きいづる つねに掲げん 若き理想を	二、 出雲野に 雲はゆたけく 学び舎をめぐりて 清き 水は流るる つねに研かん 若き英知を	一、 ふるさとの ひかり充ち 若草敷きて 唱うおとめら 若き生命を
---	--	--

5

R6年度スローガン

P・H・C の圧倒的な向上をめざし
様々な挑戦を「Cha Cha Cha」(激励・支援・応援)!

P: パフォーマンス (Performance)

体を使った表現 人目を引くためにする行為 性能、機能、効率

H: ホスピタリティ (Hospitality)

心からのおもてなし 深い思いやり

C: コミュニケーション (Communication)

【お互いの】意思疎通、共感、感情的 つながり

伝えたいこと

校訓・校歌に込められた 意味・メッセージ

前へ ～昨日の自分より前進・成長～

●「前」= 前進 進歩 成長

日々、成長する生き物

心身ともに 成長を止めない

一歩でも前へ 今日の自分は昨日より進化

4

校歌の歌詞探究

「ふるさと 皆美が丘」、「嵩の峰」、「出雲野」といった、豊かな自然に包まれた好環境の学び舎で学び育つのは「おとめら」

三番までの共通点

・場所を表す「ところ」、「つねに〇〇ん」との呼びかけ
・その目的語にあたる「若き〇〇を」

若きおとめらが、それぞれの「生命(いのち)」を養え、「英知」を研ぎ、「理想」を掲げていこうとのメッセージ
女子高でなら叶う、特有の激励コールを常に意識しながら、ここで成長していくことが目標

気づきを大切に：(一例) 漢字文化を活かす



■■と〇〇、▲▲と☆☆、〇〇と◎◎をつなぐ

8



本校の使命 (スクール・ミッション)

松江への愛着とグローバルな視点で夢を実現し未来を切り拓く力を培うとともに、
松江市の未来の創造に参画するリーダーを育てる

目指す学校像

Challengeを育て Challengeで育てる学校

「生き生きと生徒が自らを伸ばし、広い視野に立って社会に貢献する力を培う学校」

育てたい生徒像 (グラデュエーション・ポリシー)

- ① 未来の社会を生きる基礎力を備え、**自らの未来に向け主体的に学ぶことができる生徒**
- ② **ホスピタリティ精神**に富み、自他ともに尊重し、品位ある言動で**相手を慮ることができる生徒**
- ③ 確かなコミュニケーション力を備え、故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、**社会をよりよくするために行動することができる生徒**

育成したい力

言葉の力
聞き取る力
表現する力

想像する力
俯瞰する力
関連付ける力

協働する力
関係を作る力
自分ごとにする力

やりぬく力
自己管理力
計画実行力

学びの特色 (カリキュラム・ポリシー)

「学びのその先へ」を実現するカリキュラム

普通科

- 2つのコース・4つのエリアから選べる学び
- ★総合進学コース
共通テストで国公立4年制大学進学を目指す授業の展開
 - ★キャリアデザインコース
高・専・大連携型の実践的な授業の展開
福祉・医療 家政・栄養
保育・教育 観光・ビジネス

国際コミュニケーション科

- 語学と異文化体験を通じたグローバルな学び
- ★ALTの複数配置による実践的な英語学習
 - ★中国語・韓国語の選択学習 (語学検定取得の奨励)
 - ★異文化理解・国際交流を基盤とした国際感覚の育成

さまざまな出会いと体験を通じた探究型学習

- ・地域課題探究学習「まつえ学」
★松江の魅力を知る ★課題に気づく ★課題解決に挑戦する
- ・キャリア探究学習「総合的な探究」
★学びを知る ★仕事を知る ★生き方を考える

ユネスコ
スクール

部活動

地元大学 専門学校 保護者 地域 行政 企業

求める生徒像 (アドミッション・ポリシー)

- ・学ぶことに真摯であろうとする生徒
- ・様々な活動に意欲的に取り組み自分を高めようとする生徒
- ・ルールを守り、自分も人も大切にすることができる生徒

令和6年度 育成したい資質・能力 ルーブリック評価表

「ふるさとへの愛情をもって社会に貢献する生徒の育成」

資質・能力		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3（卒業時の理想像）	育てたい生徒像とのリンク項目
1	聞き取る力	その時の気分や関係性に左右されて、他者の話を聞こうとする姿勢がもてない。	様々な表現で伝えられる相手の考えや思いを独りよがりな受け止めでなく、正しく理解することができている。	相手の立場や状況をふまえて、考えや思いを受け止め、正しく理解することができている。	相手が、自分とは異なる立場や状況にあっていてもその背景をふまえて、考えや思いを受け止め、正しく理解することができている。	①未来の社会を生きる基礎力を備える ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重し、相手を慮ることができる ③確かなコミュニケーション力を備える
	言葉の力	使う言葉が限られており、どのような場面でも同じような言葉でしか表現できない。	場に応じた言葉遣いができ、相手に自分の思いや考えを伝えることができる。	自分の思いや考えを伝えて、相手に分かってもらえるよう工夫して伝えることができる。	自分の思いや考えを十分な根拠をもって伝えるときにも、聞く人の立場に寄り添って表現することができる。	①未来の社会を生きる基礎力を備える ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重し、相手を慮ることができる ③確かなコミュニケーション力を備える
2	想像する力	その時々、自分から見えない範囲でしか物事を捉えることができず、自分の快不快に基づいた自分本位の考えで行動する。	他者から見た自分という視点をもち、自分自身がどうあるべきかについて考え、行動に活かすことができる。	地域や身近な人々の立場に配慮しながら、これまでの学びや経験を踏まえて、自分がやるべきことについて考え、行動することができる。	社会や世界の情勢とその背景を理解し、これまでの学びや経験を用いて未知の出来事を推し測り、よりよい社会を築くための方法を考え、行動することができる。	①自らの未来に向け主体的に学ぶことができる ②ホスピタリティ精神に富み、自他共に尊重する ③故郷への愛情とグローバルな視点をもって自国の文化を深く理解するとともに他国の文化を尊重し、社会をよくするために行動することができる
	協働する力	他者に対して、その時々々の気分によって応答しないことがある。仕事や役割を引受けても、その任を十分に果たせない時がある。	他者からの呼びかけに誠意をもって応答する。他者の発言に耳を傾け、自分の分担の仕事や役割を果たすことができる。	自分の仕事や役割をきちんと成し遂げ、必要な時は他者の手助けをすることができる。	自分からできることを探して行い、相手を運ばず協力して目標を達成したり、作業を行うような流れを作ることができる。	①未来の社会を生きる基礎力を備える ②品位ある言動で相手を慮ることができる ③確かなコミュニケーション力を備え、社会をよりよくするために行動することができる
4	やりぬく力	自分が成長するための目標を設定することができない。また、助言を受けても、気分によって取り組みが左右される。	自己の言動や置かれた立場を客観視した上で適切な目標を設定し、挑戦しようとする意欲をもつことができる。	目標を実現するための具体的な行動が分かかっており、優先順位に従い、継続的に取り組むことができる。	実践したことを振り返って課題を整理し、必要に応じて計画を修正し、さらに高い目標に向かって取り組みを発展させることができる。	①未来の社会を生きる基礎力を備え、自らの未来に向け主体的に学ぶことができる ③社会をよりよくするために行動することができる